

ハンドボール

No. 96

Japan
Handball
Association

社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生
 県協会

全国大会
 フロック大会
 都道府県大会
 地区大会

男子
 女子

試合
番号 **県営-女32**

年月日 **2021年8月17日(火)**
 大会名 **令和3年度全国高等学校ハンドボール大会 福井県選抜杯第72回日本高等学校ハンドボール連盟大会**

公式記録用紙

A	霧島市立国分中央高校										昭和学院高等学校										B
都道府県		市町村				会場				回数											
福井県		福井市				福井県営体育館				2回戦											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B							
	7	12	22	18																	
7m得点/総数		A		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/総数									
1/1		1 1742		2 3			1 2913			2 後半 1623		2/3									
No.	国分中央高校					G	W	2	D	DR	No.	昭和学院高校					G	W	2	D	DR
1	矢口 愛桜										1	近藤 衣良									
2	川島 空来					2					2	東 瑚華					1				
3	佐藤 若奈					6					3	牧 彩音					1				
4	杉本 美羽										5	吉田 心									
5	安水 菜										6	吉田 有花					1				
6	岩元 侑莉					8					7	山田 梨央					1				
7	平田 真都										8 c	尾関 菜					4				
9	坂本 悠莉										9	渡邊 未尋									
12	小山田 玲那										10	中村 千友					8	1			
13	福留 愛音					1		1			11	茂木 美優					1				
14	浅谷 光琉					1		1			13	佐々木 穂乃							1		
15	高城 美空										14	水谷 美海					1				
16 c	坂本 晶										15	角田 清香									
17	恒吉 優香					4					16	堀内 雪羽									
役員A	庄屋 亮二										役員A	佐藤 奏吉									
役員B	南 里穂										役員B										
役員C	四元 陽菜乃										役員C	有隅 晴香									
役員D											役員D										
A	庄屋 亮二					チーム役員A署名					佐藤 奏吉					B					

レフェリー	内記 徹	邊 輝哲	内記 徹	邊 輝哲
TD	足田 雅己	上原 一人	足田 雅己	上原 一人
M.O				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO. 98

令和3年度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月17日 火曜
会場	福井県営体育館
種別	女子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
22	国分中央	22	7-12	18	昭和学院
			後半		
			15-6		
第1延長	—	第2延長	7MC		
—	—	—	—		
—	—	—	—		

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半
	<p>選抜準優勝の昭和学院に挑む対戦となった国分中央は、17番恒吉のカットインで先制。両チームとも一步も引かない試合運びで前半13分、4-4のロースコアで進む。ここから流れを引き寄せたのは昭和学院。10番中村、8番尾関のロングで得点し一歩リードする。しかし国分中央も相手のミスに速攻につなげ得点する。6番岩元も積極的にシュートを狙い、7-9と食い下がる。後半25分過ぎから、昭和学院は10番中村の連続得点を機に3連取し、7-12と5点差をつけて折り返す。</p>
後半	<p>後半立ち上がり、国分中央6番岩元の速攻、13番福留のカットインなどで4連取し11-12で1点差とする。逆転を狙う国分中央だが、昭和学院10番中村が速攻を決め、追いつかせない。しかし、国分中央2番川島のロング、3番佐藤の速攻などで3連取し後半15分、15-14と逆転に成功する。流れを止めようと昭和学院はタイムアウトを要求するが、国分中央のサイドシュートが決まり3点差まで広げる。なんとか追いつきたい昭和学院は、6番吉田の気迫あふれるポストプレーから7mTを獲得し、8番尾関がきっちり決める。国分中央に退場者が出て昭和学院がチャンスを作るも16番GK坂本がファインセーブを見せる。それでも国分中央が落ち着いたゲーム展開で得点を重ね22-18で接戦を制した。</p>

記入者 杉山 卓也